



# 米商進路だより

令和4年2月21日発行  
山形県立米沢商業高等学校  
進路指導部（第32号）

## 《 成し遂げるためにやり遂げる！このチームで良かった！ 》

2月4日から冬季オリンピック北京大会が開催され、ジャンプ・スノーボード・スピードスケート・フィギアスケート・カーリングに出場して活躍をしている姿を目の当たりにすると、これまでの練習の成果が発揮できたのは、日々の努力の証であり、選手の皆さんには「おつかれさまでした」と労いの言葉をかけるとともに「感動をありがとう」とお礼を言いたくなるのは年齢を重ねた証なのではないでしょうか。

一方でルールや判定に物議を醸（かも）した報道があり、悔やまれる大会になってしまったことは無念です。また、女子団体パシュートでは、残り200mまでリードしながらもラストのコーナーでまさかの転倒…、何とか立て直しゴールをしましたが本人は涙が溢れて止まりません。そんな姉に寄り添う妹やチームメイトの姿をみて、心が熱くなったのは私だけではないはずです。

ところで、県立高校推薦合格者発表（下記参照）になりました。2月18日（金）からは一般入学者選抜の願書受付が始まり、皆さんも本校を受検したときのことを思い出しているのかもしれない。学校生活では、本日から学年末考査が始まっていて、いわば決算の時期を迎えています。1・2年生は次年度に向けた学習の接続期間（習うより慣れろの復習時期）と言っても過言ではないのです。

内定者数	一般入学者選抜定員
16	64

また、3月の特別時間割では進路について考える時間を可能な限り確保しました。学習成績は、学年末考査を持って決定いたしますが、「進路が決まっている人」と「まだ決まっていない人」では、学習の取組みにも影響するものです。本校からは受験者は少ないのですが、大学入学共通テストの結果によっては志望大学が変わったり、先生・親・友達と話している内に志望大学が変わるってことは現実的にあるのです。

2年生の合同企業説明会は就職希望者に対してだけでなく、進学希望者に対しても置賜地方の企業について理解を高める機会を確保します。企業名を知ること、一度県外に出た人も「そういえばあの企業…」という具合に思い出してもらうことがねらいです。置賜地区には、世界を相手にしている企業がたくさんあるのですが、その企業を知らないのは、商業の言葉に例えていうならば「機会損失」になっているのです。

期日	曜日	学年	行事予定
3月7日	月	2年	合同企業説明会（参加企業26社）
3月18日	金	1・2年	1年間の振り返り（キャリアパスポート）
			先輩からのメッセージ（令和3年卒業生）
3月22日	火	1年	ライフプランニング（人生設計）
		2年	進路講演会

## 《 1・2年生 合格体験報告会 》

2月17日（木）に3年生から進路達成までの過程も含めて、これまで取り組んできたことを話してもらう合格体験発表会を実施いたしました。就職3名、進学2名、公務員1名の6名から、学習方法やモチベーション維持の秘訣なども交えながら、話を聴くことができたと思います。特に、公務員試験合格までの道のりを聴いて驚いた人がたくさんいましたが、意識が高揚し学習意欲に満ち溢れた人もいたはずです。



## 《 3年生 労働法規研修会 》

3年生では、労働環境のことについて、知識や見聞を広めるために米沢地区労働者福祉協議会から講師を派遣していただき、「労働時間」「労働契約」「最低賃金」等の話をしていただきました。企業では就業規則に基づいて社員の皆様が働いています。そして、モチベーションを高めるためには、「給与」が気になりますが、やりがいも含め達成感や成就感に溢れることがとても大切なのです。

「ブラック企業」という言葉を聞いたことがある人は多いのですが、「ホワイト企業」という言葉を聞いたことがある人は意外と少ないかもしれません。その代表である企業が先日講演会でお世話になった「佰食屋」なのです。「残業がない」というのは、今の皆さんが求めていることであり、人生100年時代の労働環境について知っておくことは極めて大事なことだと思っています。



本日の「進路だより」タイトルは、北京オリンピックでの名言を引用いたしました。小平選手は惜しくもメダルに届きませんでしたが、「成し遂げるためにやり遂げた」という言葉は胸が熱くなりました。また、男子ノルディック複合の銅メダルは、ほんの僅かの差であり、チーム一丸となった勝利であることは間違いありません。選手の「このチームで良かった」「仲間がいて良かった」という言葉に励まされた人も多いと思います。